

山行報告 奥秩父鶏冠谷左俣三ノ沢

日時 8月1日

メンバー CL 渡邊三 上茂 大塚 吉川 萱野香 小原

行程 西沢溪谷駐車場 7時出発～鶏冠谷入溪 7:40～左俣出合 11時～

三ノ沢出合 12:30～最後の二俣 14:30～鶏冠尾根 15:20/16:00～鶏冠山迂回して休憩地 16:50 (一報入れる) 17:20 出～第3岩峰迂回～2峰 17:50 第1岩峰終了 18:40～樹林帯休憩地 19:30 (一報入れる)～河原到着 20:40 (下山メール入れる)～駐車場 21:30

朝から快晴。山沿いは天気不安定で雷雨の予報は警戒しつつ鶏冠谷入溪。二俣までは特に問題なく順調に遡行する。メンバー中4人は、右俣の遡行経験はあるが左俣本谷は三ちゃんと大塚さんは遡行経験有で、三ノ沢は皆初めてだ。左俣に入ると小滝やなめ滝が続き、暑いので高巻よりも水線突破で水に入りながらの遡行となった。一ノ沢、二ノ沢が出合うと三ノ沢もすぐだった。三ノ沢の出合いはしょぼいが入るとなめが続き。小滝も多く、みんな挑戦的にルートを探し、ダメなら高巻いたりして、結構時間を費やしたかもしれない。それにしてもなめ滝の多い沢だと感じた。天気は雲が出てきたがまだ持ちそうだ。なめも微妙な傾斜の登りが続いたのもあったのか、約一名に疲労が現れ遅れがでる。最後の二俣到着。右はまだ水が流れているが、記録だと藪こぎがあるらしく、なるべく体力を温存するため左のルンゼを詰める。雲行きは悪くなってきたがまだ雷は聞こえない。雨もなし。吉川さん、三ちゃん先頭で、うわしげ、萱野さん、小原さんの後に大塚さんがつき、登り始める。先頭がどんどん行くなか、最後尾を視界に入れながら登る。ルンゼから灌木帯、岩場にぶつかり、数手登り左へトラバース。しゃくなげをほんの少し漕いで鶏冠尾根に出る。到着時間に結構差が出てしまった。雁坂峠方面はすでに雲にすっぽり覆われ、金峰山方面はまだ視界がある。今いる場所が境界線のようなのである。

靴に履き替え下山開始。一度ピークに出たが降りる道がないので一旦戻り正しい道にでる。そのまま岩峰を巻くように歩き続けた所、鶏冠山を通りすぎたことがわかり、吉川さん、三ちゃん、萱野さんが空荷で鶏冠山を目指す。残りの3名は停滞。その間、下山時間の17時を過ぎたのでメールを入れてみる。圏外でなくて良かった。まだ鶏冠尾根の途中だと告げる。待ってる間乾ききらない衣服が冷えて寒くなり、大塚さんは上着を羽織り、小原さんはカップを着たが、指先が冷たいと訴える。

皆戻り歩き出す。ピンクテープで導かれ、第3岩峰下に到着。ここには道標が新旧示されていて一瞬迷う。雷雨が迫ってきたので第3岩峰の迂回コースへ入る。樹林の急坂に入った途端、雷雨が襲う。カップを着る。岩峰を巻いて基部に着く。これから第2、第1岩峰を通過しなければならない。迂回路はなし。雨はすぐに止んだが雷が鳴り響く。ルート先導に吉川さん、三ちゃん、大塚さん、萱野さん、うわしげが最後尾、その前に小原さんをおき、前後で指示しながら慎重に通過。まだ明るいうちに一刻も早く通過したいのだが、

岩稜地帯に慣れていないのと疲労と緊張でなかなか進めない。稲妻はあちこちで光り、風も出てきて雨も時折ばらばらと来るが豪雨にはならず、岩を下りるまでもった。危険な一時は過ぎ、あとはヘッドランプ便りに急な下山路を下るのみ。暗いのと木の根が滑ると、パーティーの前後の距離が開くので、確認しあいながらゆっくり下った。鶏冠谷に到着し、沢靴に履き替えほんの少しだが沢を下り、徒渉して無事に帰還した。

反省点として、①度重なる行動の遅れがどんどん蓄積され、結果的にこんなに遅くなってしまった。②岩峰通過時に何事もなかったのは幸いだが、岩慣れていない人間に対して、確保するなど安全対策が不十分だった。③沢のグレードに対してのメンバーへの声かけが安易だった。